

「オーレ、中高年、フラメンコ」
寿生きがいひろば

「フラメンコを踊ろう」に参加して

佐藤久与・小嶋弘子

この講座は、広報で知りました。「うーん、私で大丈夫かしら？物忘れが多いのに何かを覚えられるかしら？」と考えながらも、参加申込みの電話をしていました。

練習に入ると、花輪先生の背筋のピシっとした姿に「わたしもこうなりたい」と思い、少しずつ背中を伸ばしお腹を緊張させています。練習4回目には先生の衣装をお借りして、気持ちをおコントロールし音に合わせてステップを踏みます。手も形どると気分は上々。いざ、フラメンコ。



本番ではメイクして、髪や耳にも飾りをつけて別人に、と順調に進むと良いのですが、今のところ、気分は上々と踊りだしても、右をみると

「あれ、隣の人と手が違う。」
左をみると、「足がちよっと私と違ってみたい！」と、なかなか思うように体が動いてくれません。

それでも、『フラメンコで10歳若返る!!』を目指して、

「オーレ仲間たち!!」

☆12月12日(金)人生うたい語りのつどいで発表します。ぜひ、お越しください。

松林利用者交流会「館外研修」に参加して

松永あき (Mayuries POPS)

雨予報でしたが薄日の射す穏やかな天気の中出発。

最初の目的地、ききょうやへ。話に聞いていた詰め放題ができるかもと期待していたが、朝8時から整理券が配布され、8時半には配布終了してしまっていた。次回はぜひチャレンジしたい。

格安で新鮮な野菜をお土産に次の目的地、花子とアンの花子の親友、蓮様お奨めの“かぼちゃほうとう”を食べるため小作へ。一人用にしては大きな鉄鍋が目の前でグツグツ！卵大のかぼちゃがゴロゴロ。タプリの野菜だけでお腹がいっぱい。

はなのおっ母の味を満喫し、山梨県立美術館へ。ここはバルビゾン派の絵画を多く収蔵している。

バルビゾンというのは、パリ郊外の小さな村の名前で、多くの画家達が移住し作品を手がけ、後にその画家達に村の名前をつけて呼ぶようになったとの説明があり、勉強になりました。その他にも、ミレーなど有名な画家たちの歴史ある絵画には引き込まれるモノがあり、「だから名画なのだ!!」と実感。日本の近現代美術作品も多数展示されていて、しばし優雅な気分になる。

名画を堪能した後は、お待ちかねのリニア見学センターへ。リニアモーターカーの試験走行は残念ながらこの日は実施されず。短



編映画でスピード感を体感し、模型試乗でリニア感を体験し、ジオラマでは山梨の鉄道網がリアルに再現されていて見入ってしまいました。帰路では、大きな虹も現れて幸せ気分になり、楽しい一日でした。

流しそうめん

利用者交流会では、8月24日(日)「流しそうめん」を開催。

当日は、約100人が参加して、美味しいそうめんをほおばりながら、楽しい交流のひと時を過ごしました。

